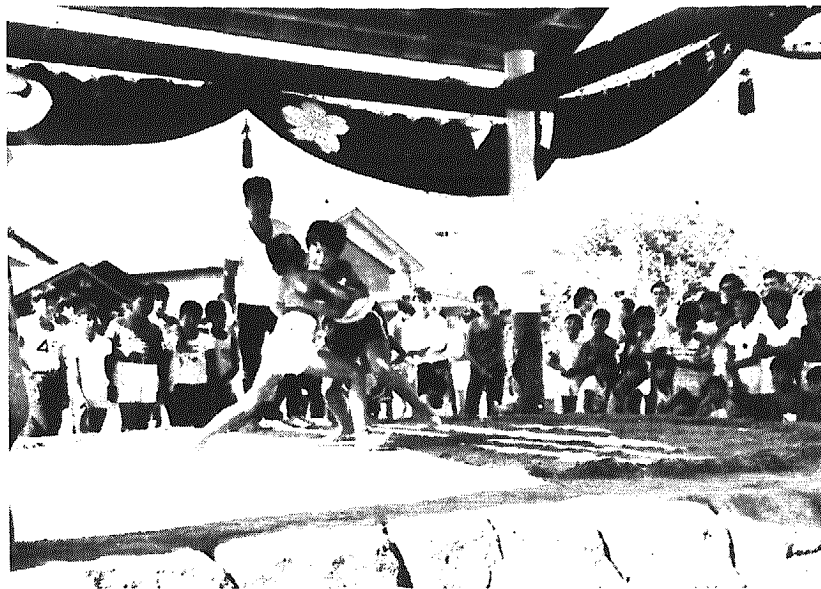


広報 UNOYAMA

第 62 号

発行所 黒埼町役場
印刷所 共立印刷株式会社



〈町の動き〉

8月末現在	(増減)
人口	18,278 (+17)
男女	8,939 (+7)
世帯数	9,339 (+10)
7月1日～末日	4,360 (+2)
死亡	9
出生	37
離婚	14

- 五年
- 三位 明田川正敏 (立仏小)
- 一位 鈴木博之 (大野小)
- 二位 大橋清孝 (黒鳥小)
- 三位 宮嶋政敏 (山田小)
- 三位 笠原 豊 (木場小)
- 六年
- 一位 大矢 学 (坂井小)
- 二位 曾山 功 (坂井小)

ハツケヨイ ノコッタノコッタ 少年相撲大会

本年度で六回目を迎えた、少年相撲大会は、去る、八月二十一日諏訪神社境内の相撲場で行われ、小学四年から中学三年までの選手、約三〇〇余人が参加して熱戦が繰り広げられた。

これは教育委員会、青少年問題協議会、大野町相撲協会が主催となり、少年の身心の鍛練をはかり健全な育成を期すことにより、すべての子供にスポーツを、といううことで始まり、昔から比較するに哀れなき「スポーツの町黒埼」の名を復活すべく毎年この時期に行ってきたが、今年も例年になく各小学校とも熱が入り、ある小学校では予選会を行ったとか。当日は一日中、黄色い声援で土俵をにぎわした。

各学年とも三位まで、町長から賞状及び賞品をもらい、喜びを満面にたたえていた。成績は次のとおり。

- 四年 (敬省略)
- 一位 木村 徹 (大野小)
- 二位 大岩秀男 (黒鳥小)
- 三位 山際博己 (木場小)

自家用天然ガス

使用状況調査にご協力を

- 三位 深沢英二 (大野小)
- 三位 永井 円 (坂井小)
- 中学一年
- 一位 白井和也 二位 前田幸一
- 三位 青木博 三位 大原正明
- 中学二年
- 一位 渡辺篤志 二位 加藤 明
- 三位 八代昌彦 三位 森田照夫
- 中学三年
- 一位 志賀義男 二位 成海源幸
- 三位 佐藤克人 三位 佐久間賢一

新潟平野の地盤沈下は、いまだ終息せず、年間五センチメートル程度の沈下速度で進行しています。ご承知のように、地盤沈下は、直接人体に影響がないため、大気汚染、水質汚染、騒音および悪臭等に比べて関心がうすいようですが、自分たちが生活している土地が広範囲に、かつ、知らぬ間に沈下し、災害時に被害の大きさに驚きあわ

てるというのが現状かと思われる。

そのため、県では「地下水総合規制対策」を策定し、地盤沈下の主因である地下水の汲み上げを規制しております。

そのなかで、大量に地下水を揚水していた冷暖房および雑用地下水については、新潟県公害防止条例により昭和四十八年七月から規制するとともに、鉱業用天然ガス採取に伴う地下水は、昭和四十八年十月から地上排水を禁止して、すべて地下に還元してあります。

自家用天然ガスについては、新潟市を中心としたその周辺で、約六、〇〇〇本のガス井戸が点存し、その排水量は、一日に数万立方メートルに達すると推定されており、これが地盤沈下を進行させる原因となっており、科学的に証明されております。

この自家用天然ガスを廃止し、他の燃料に転換した場合は、補助金を交付することになっておりますが、転換率が低く、批判も出ております。

最近のエネルギー危機が大きな社会問題となっているときに、他の燃料に切り替えるというごことは抵抗があると思いますが、地盤沈下防止のために、ぜひ燃料転換にご協力をお願いいたします。

地盤沈下防止対策を樹立するために、九月十日頃から係員が天然ガスの利用状況と、燃料転換の意向について、実情調査に伺いますから、ご多用のことと思いますが、ご協力下さるよう重ねてお願いいたします。

なお、不明な点等は、建設商工課(電話八七五四四)にお問い合わせ下さい。